

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	鋼構造次世代設計規準検討小委員会	主 査 名：山田 哲 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田博 主 査 名：五十嵐規矩夫
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>大地震に対する倒壊防止から機能維持へといった建築構造への社会の要求の変化や、計算機の普及・進歩といった技術の進歩を踏まえ、現行の鋼構造の設計における問題点を洗い出すとともに、具体的解決策を検討し、新しい設計規準(案)の提案を行う。</p> <p>初年度：現在の設計規準における問題点の抽出し、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。</p> <p>2 年度：大会において PD を開催し広く意見を求めるとともに、前年度に引き続き現在の設計規準における問題点の抽出に取り組み、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。新しい体系を検討し、骨格の原案の作成に着手する。</p> <p>3 年度：新しい設計規準の大枠について、原案を作成する。</p> <p>4 年度：取りまとめた資料によりシンポジウムを開催し、新しい設計規準・指針を作成する上での課題を整理する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：山田 哲 (東京大学) 幹事：浅田勇人 (芝浦工業大学) 委員：石原 直 (国土技術政策総合研究所), 井戸田秀樹 (名古屋工業大学), 宇佐美徹 (竹中工務店), 岡崎太一郎 (北海道大学), 吉敷祥一 (東京工業大学), 倉田真宏 (京都大学), 聲高裕治 (京都大学), 小山 毅 (東京電機大学), 佐藤義也 (日本設計), 竹内 徹 (東京工業大学), 田中 剛 (神戸大学), 向出静司 (大阪工業大学), 脇田直弥 (日鉄エンジニアリング)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2021 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：－

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	1. PD：次の時代の鋼構造の設計規準 参加者数 271 名 『構造部門 (鋼構造) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. パネルディスカッションでの議論と、構造技術者へのアンケートを通じて、鋼構造に関する設計規準・指針に対する課題の整理と、ユーザー側の要望などを広く集めることができたことで、体系の見直しを検討する上での情報を整えることができた。概ね、順調に進められていると考える。
委員会活動の問題点・課題	1. オンライン化で移動時間がかからなくなったものの、平日にまとまった時間で委員が揃うのはまず無理であり、休日の開催となってしまいます。本小委員会に限ったことではありませんが、委員会の時間外にも資料準備などいろいろなことをしなければならず、通常業務に加えての用務であることから、働き方改革に逆行する働き方となっていることが、新しい世代の人たちから告発されるなどして大きな問題になるのではないかと危惧しています。